

## [023] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9895>

---

出版情報：中国文学論集. 23, 1994-12-25. 九州大学中国文学会  
バージョン：  
権利関係：

彙報

○講義題目(平成六年度)

特研 中国語学・中国文学の諸問題 竹村 助教授

特講 楊貴妃文学史研究 竹村 助教授

演習 杜甫詩演習 竹村 助教授

袁枚詩演習 竹村 助教授

古代漢語 康 教師

中国文学史 康 教師

元人雜劇選 康 教師

詞・散曲・民歌選 (比較研)合山 教授

当代文学研究 (言語文化部)岩佐 教授

中国語初歩 西山 講師

(大分県立芸術文化短大)西山 講師

中国語 (西山) 講師

中国語 (西山) 講師

臨講 中国の詩法と言語

——日本詩歌にも関連して——

(早稲田大学)松浦 教授

漢語音韻学研究

(大阪外国語大学)佐々木助教授

○卒業論文

『金瓶梅』と『好色一代男』にみる男女の愛

古賀 昌治

張抗抗の小説について

——その変遷の背景にあったもの——

林 恭子

『封神演義』にみる魂魄について

角田 美和

『三国志演義』における裏切りの論理

寺田久美子

魚玄機「贈鄰女」詩論

中島 仁美

巴金『家』

——「個」と「家」の問題に関して——

祝 英明

中唐文学に於ける情愛の世界

——白氏文集及び伝奇小説を中心として——

諸田 龍美

○中国文芸座談会

第一四四回(平成五年五月九日)

魯迅『野草』と『晨报副刊』

——「ツルゲーネフ散文詩」

訳載を中心に—— 秋吉 收

『三体詩』におさめる杜常「華清宮」詩は

『万首唐人絶句』に拠ったか 竹村 則行

第一四五回（七月四日）

南宋初の随筆『碧鷄漫志』の特徴

——蘇軾詞評価を中心に—— 正木佐枝子

『北堂書鈔』の編集態度に見る虞世南の文学観

柳川 順子

第一四六回（九月五日）

『秦併六國平話』と胡曾の詠史詩

意境理論萌胎於『文心雕龍』説 盧 永璘

第一四七回（十一月六日）

杜詩における書画論の受容

——「丹青引」を中心として—— 安松 靖子

中唐文学に於ける「情」の世界

諸田 龍美

『拍案驚奇』の評釈について

日下 翠

第一四八回（平成六年一月二十九日）

芥川龍之介『支那游記』考

山本 美香

巴金『家』論

——「個」と「家」の問題に関して—— 祝 英明

『楚辞』第一人称代名詞の語用より見た

上古漢語の共時的差異 西山 猛

第一四九回（三月二十日）

『三国志』と『三国演義』に於ける諸葛孔明

小笹美樹子

中国当代文学考

——在外研究を終えて—— 岩佐 昌暲

第一五〇回（五月十四日）

蘇軾の婉約詞について

——曹樹銘氏の誤入説の再検討—— 正木佐枝子

特別講演

『白氏文集』の版本と久留米大学本『白氏文集』

岡村 繁

第一五一回（七月十六日）

阮籍「詠懷詩」をめぐる若干の問題 甲斐 勝二

關於「文選序」「事出於沈思、義婦乎翰藻」的

「事」和「義」 楊 明

第一五二回（九月十七日）

『詩経・国風』言情詩与周代婚制 盧 益中

「渾家」何以呼「大嫂」

——元雜劇中的特殊称谓与兄弟共妻古俗—— 康 保成

彙報

第一五三回（十一月十九日）

古代民歌のリズムと詩經四言のリズムについて

野田 雄史

周作人の文学における“川柳味”

吳 紅華

伝奇小説から講唱文学に至る西廂故事の演変

——趙令時の《商調蝶恋花》

を中心として—— 黄 冬柏

○会員近著

秋吉久紀夫 精選中国現代詩集

（土曜美術社出版販売

世界現代詩文庫20

平成六年三月）

穆旦詩集

（土曜美術社出版販売

平成六年五月）

交流と異境

（土曜美術社出版販売

詩論・エッセー文庫4

平成六年七月）

多賀 浪砂 千宝『搜神記』の研究

（近代文藝社 平成六年五月）

○会員消息

目加田 誠 平成六年四月 逝去